

## 「古典探究」シラバス(2年)

科目	単位数	指導学年	使用教科書
古典探求	2単位(76時間)	第2学年	大修館書店『精選 古典探究』
科目の目標			
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			

学期	月	学習項目 (教科書単元名/教)	時間	学習の内容	評価規準例	評価方法等	
1 学期	4	オリエンテーション (古典作品学習意義)	1	オリエンテーション (古典作品学習意義)	<b>【知識・技能】</b> ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)イ】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)エ】 <b>【思考・判断・表現】</b> ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【(1)エ】 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・古典作品の学習意義について、理解しようとしている。	・記述の点検  ・記述の分析  ・行動の確認	
	4	【古文編第1部】1 説話 宇治拾遺物語：検非違使忠明のこと	5	・話の舞台や背景に注目し、登場人物の行動に注意して読み、話の展開を把握する。 1, 清水寺について、知っていることを話し合う。 2, 語句に注意しながら音読し、文章の調子、大意をつかむ。 3, 略図上に人物の動線を描くことで話の展開を確かめる。	<b>【知識・技能】</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)イ】 <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容的確にとらえている。【(1)イ】 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取るようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認	
	5	【漢文編第1部】1 故事・逸話 知音	4	・漢文調読に習熟する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述のおもしろさを味読する。 1, 返り点の用法に注意して本文を音読する。 2, 故事成語としての意味を理解する。 3, 白牙はなぜ琴を弾かなくなったのか考える。	<b>【知識・技能】</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認	
	5	中間考査	定期テスト	1			・ペーパーテスト
	6	【古文編第1部】2 随筆 (一)	徒然草：家居のつきづきしく	7	1, 当時(平安～鎌倉頃)の住居・建築様式について調べる。 2, 音読をして、文章の調子、大意をつかむ。 3, 辞書を引いて正確な現語訳を試みる。 4, 西行との比較をとおして兼好の考えを理解する。	<b>【知識・技能】</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認

学月	学習項目 (教科書単元名/教)	時間	学習の内容	評価規準例	評価方法等
6・7	【漢文編第1部】 3史伝—『史記』本紀	鴻門の会（沛公項王に見ゆ／樊噲目を瞞らして項王を視る）	6 1, 項羽、劉邦という人物と、時代背景を確認する。 2, 『史記』および司馬遷について確認する。 3, 語句や句法、難読語に注意して音読する。 4, 沛公の発言の意図を考える。 5, 酒宴の様子を読み取る。 6, 項伯、范増、項王の考えを読み取る。 7, 張良と樊噲のやりとりを理解する。 8, 項王の行動を把握する。 9, 樊噲の言動を読み取り、整理する。 10, 樊噲に相対した項王の新城を読み取る。 11, 項王の性格について考える。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【(1)エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『史記』について興味をもち、登場人物の行動や心情について考えようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	期末考査	定期テスト	1		・ペーパーテスト
	【漢文編第1部】 2漢詩—近体詩	竹里館、登岳陽楼	4	竹里館 1, 竹里館がどのような場所にあるかを押さえる。 2, 月が照らしているものを具体的に考える。 3, 「人不知」とあるが、人は何がわからないのか話し合う。  登岳陽楼 4, 作詩の背景を説明し、脚注を参考に現代語訳させる。 5, 前半と後半で作者の気分の描かれ方の違いを考える。 6, 詩における「孤舟」の役割について考える。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 【主体的に取り組む態度】 ・近体詩や作品の背景について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。
2学期	【古文編第1部】 3物語（一）	伊勢物語：初冠	5 1, 『伊勢物語』や歌物語について調べる。 2, 語句に注意しながら音読し、文の調子、大意をつかむ。 3, 男の取った行動を、順を追って把握する。 4, 「いちはやきみやび」に着目し、平安貴族の美意識を理解する。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【(1)エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	【漢文編第1部】 3史伝—『史記』本紀	項王の最期（四面皆楚歌す／我何の面目ありて之に見えん）	6 四面楚歌 1, 語句や句法に注意して音読する。 2, 項王と劉邦の立場の違いを鴻門の会と比較する。 3, 項王「大驚」とある理由を考える。 4, 「時不利」「力拔山」「氣蓋世」の言葉から項王の現状認識を考える。 我何の面目ありてか・・・ 5, 導入文を読み、項王が烏江にたどり着くまでの経緯を把握する。 6, 全文を音読し、内容を理解する。 7, 烏江の亭長の言い分を整理し、まとめる。 8, 項王が江東の親たちに合わせる顔がないと考えた理由を読み取る。 8, 項王はなぜ烏江で最期を迎えることになったか読み取る。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考・判断・表現】 ・作品の成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【(1)エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『史記』について興味を持ち、登場人物の行動や心情について考えようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認

学期	月	学習項目 (教科書単元名/教)	時間	学習の内容	評価規準例	評価方法等
	10	中間考査 定期テスト	1			・ペーパーテスト
	11	【古文編 第I部】 5物語 (二)	6	1, 作品、作者、人物関係、貴族の婚姻制度、清涼殿等について調べ、共有する。 2, 語句に注意しながら音読し、文章の調子、大意をつかむ。 3, 敬語などに注意し、登場人物の関係や言動を把握する。 4, 漢籍の影響を確認する。 5, 帝の寵愛と周囲の反応を読み取り、桐壺更衣の置かれた状況について考える。 6, 「玉の男皇子」の様子について確認する。 7, 桐壺の更衣に対して、帝と周囲の扱い方が隔たる理由について話し合う。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。【(1)イ】 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	11	【漢文編 第I部】 5思想	6	1, 春秋戦国時代について調べる。 2, 本文を音読し、内容を理解する。 3, 「大道廃、有仁義」の文から儒教の考えと思われるものを抜き出す。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考・判断・表現】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国古代思想史について興味をもち、現代に与えた影響について理解しようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	11	期末考査 定期テスト	1			・ペーパーテスト
	12	【古文編 第I部】 6日記	4	1, 作品、作者の基本事項や当時の旅について、グループで調べたことを話し合う。 2, 音読をして、文章の調子、大意をつかむ。 3, 冒頭から門出に至るまでの作者の心情を整理する。 4, 現代の日記と古典における日記文学の違いについて、グループで話し合う。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『更級日記』や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	1	【漢文編 第I部】 5思想	5	1, 本文を音読し、内容を理解する。 2, 典冠の行動と、昭侯の評価を理解する。 3, 典衣・典冠が罰せられた理由を整理する。 4, 韓非子の主張について理解する。	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考・判断・表現】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法家の思想について興味をもち、我が国の文化への影響を考えようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認

学期	月	学習項目 (教科書単元名/教)	時間	学習の内容	評価規準例	評価方法等
3 学期	1	【古文編 第I部】 7物語 (三)	5	1, 本話に至るまでの物語の概略や壇の浦の合戦の戦況、登場人物を確認する。 2, 語句に注意ながら音読し、文章の調子、大意をつかむ。 3, 教経と知盛の行き違いを読み取る。 4, 最期の迫る教経の気迫と、対する義経の態度を読み取る。 5, 教経・知盛の最期の様子を読み取る。 6, 各々の言動から教経・知盛・義経の人物像を読み取り、その違いを把握する。 7, 教経の戦いぶりについて、緊迫感あふれる描写を味わい、表現の特徴について考える。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 【思考・判断・表現】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・語り物の優れた表現を味わい、歴史的背景をふまえて解釈しようとしている。	・ペーパーテスト  ・ワークシート・ノートの確認  ・ワークシート・ノートの確認
	2	学年末考査	1			・ペーパーテスト
	2	【古文編 第I部】 8和歌・歌謡・歌論	3	1, 『古今和歌集』の基礎事項について確認し、共有する。 2, 修辞や語句に注意しながら音読し、文章・和歌の調子、大意をつかむ。 3, 仮名序における「やまと歌」がどのようなものか理解する。 4, 六歌仙に対する評価を歌の表現をふまえて分析する。 5, それぞれの歌に詠まれた季節の景物を把握し、季節感を理解する。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「真名序」や漢詩と比較し、「仮名序」における和歌がどのようなものかを理解しようとしている。	・ワークシート・ノートの確認  ・制作物の内容  ・制作物の完成度
3	【漢文編 第I部】 6日本の漢詩	4	1, 教科書276ページ「漢文の窓④」漢文と日本人」を読み、中国文化と日本の関係を考える。 2, 巻末「漢文と日本文化」を読み、既習の漢文知識と併せて理解する。 <b>不出門</b> 1, 作者やその時代背景を調べる。 2, 詩を音読し、語句の意味や句法を確認する。 3, 頷聯、頸聯の技巧、意味を理解する。 4, 詩の内容から作者の心情を読み取る。 <b>桂林荘雑詠</b> 1, 「桂林荘雑詠」を読んで門弟たちの生活を想像する。 2, 生活と学問の関係を考える。 <b>将東遊題壁</b> 1, 「将東遊題壁」を読んで学問への志の高さをどう表現しているか考える。 2, 月性の伝記を図書館やインターネットなどで調べる。 <b>題自画</b> 1, 教科書277ページ「漢文の窓④」の「夏目漱石と漢詩文」を読む。 2, 「題自画」を読んで内容を理解する。 3, 夏目漱石がその絵と詩に込めた心境を想像して話し合う。	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	・ワークシート・ノートの確認  ・制作物の内容  ・制作物の完成度	

計 76